

トマトの育て方

カネコ種苗株式会社
花き園芸部

【1】土作り

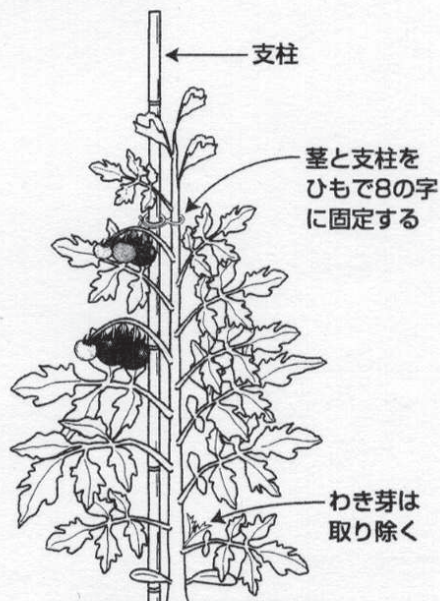
植え付け約10~14日前に、苦土石灰とカルシウム入り肥料と堆肥を入れ、よく耕します。
(ジャガイモ、トマト、ナスなどのナス科の野菜との連作は避けてください)

【2】植え付け

植え付けの時期は、外気温18℃以上の4月中旬以降が適期です。苗は大きくなるので、株間を40cm以上とり植え付けます。地温保持や雑草防止のためマルチやワラを敷くと効果的です。

【3】支柱立て

株元から10cm程離れたところに、長さ1.8~2mの支柱を立てます。茎を支柱に縛るときは生長して茎が太くなったとき、茎に食い込まないように紐にゆとりをもたせて「8の字」に縛ります。苗が伸びるごとに、支柱に誘引して先端が垂れ下がらないようにします。



【4】肥料

野菜専用肥料または化成肥料を一握り、株の周りにまきます。開花後小さい実が着いてきたら、野菜専用液肥を週1回与えます。

【5】病害虫予防

病害虫が発生した場合は、お近くの販売店等にお問い合わせのうえ、適切な農薬を使用するようにしてください。そのまま使えるタイプのハンドスプレー式薬剤や野菜専用薬剤も市販されています。

【6】水やり

苗が小さいうちは根を深くするため、少量づつかけて様子を見ます。7月の梅雨あけ後は、トマトも大きくなっていますので十分に水やりします。果実の熟期が近づいたら水やりは少なめにします。

【7】整枝

植え付け後約10~15日で完全に根つき、この頃葉の付け根から小さいワキ芽が伸びてきたら早めにかきとります。主枝の花房が4~5段ついて5段目の花房が開花を始めた頃、花房の上の葉2枚を残して、葉の上の部分で芯を止めます。花房をたくさんつけるほど、育て方は難しくなります。



【8】生理障害

高温で土壌が過乾湿の時期や、窒素肥料の多用、カルシウム欠乏などで尻腐病やすじ腐れ病が発生します。土づくりで深く耕して堆肥を十分に施し、カルシウム入り肥料を加え、マルチなどで土壌水分の急激な変化を避けま

【9】収穫

果実が十分に着色し、糖度がのってきたら収穫します。やや乾燥ぎみにすると糖度が上がり美味しくなります。